

備前市事務事業評価シート

(平成25年度事業)

事業の概要		根拠法令・例規等		備前市スマートコミュニティ事業化検討委員会条例	
事業開始年度	H17.3.22~	問		担当課(室)	環境課
総合計画大項目	基本構想 05	答		職・氏名	保全係長・石野 隆彦
総合計画中項目	基本計画 09	問		電話	64-1822
総合計画小項目	施策 40	答		このシート作成に要した時間	1.0 時間
事務事業名	06 スマートコミュニティ構想普及事業				

事業の目的		Plan
対象(誰・何に対して)	市民(特に備前西部エリアを対象)	事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価
目的(何のために)	再生可能エネルギーの供給を増やし、省エネによりエネルギーの需要を削減するための事業化に向けての調査と事業を実施する。	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	地域におけるエネルギーの地産地消を目指す。	

事業の実績			Do
細事業名	事業の説明	優先度	事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価
スマートコミュニティ構想普及事業	備前西部エリアでのスマートコミュニティの事業化と他地区の可能性を調査	○	

事業費等		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
決算額	事業費	千円	7,572	0	0
	必要人員	人	0.31人	0.39人	0.00人
	事業費	千円	10,161	4,107	0
	事業費	千円	10,161	4,107	0
財源	国	千円			
	県	千円			
	支	千円			
	出	千円			
	金	千円			
受	益	千円			
	者	千円			
	負	千円			
	担	千円			
比					
率					

結果指標		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
結果指標	量				
対前年	比	%	8,839	37,990	0
活動	コスト	円	10,161,000	4,107,000	0
単位	当たり	コスト	1,150	108	#DIV/0!

事業の成果		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度目標値
事業実施件数	成果指標名	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度目標値
	目	目標値(A)		1	1	1
	実	実績値(B)		1	0	到達目標値
達成率(B/A)	#DIV/0!	100.00%	0.00%			

成果指標設定の考え方・式や説明

調査結果で得られた事業可能なものについて、スマートコミュニティの実現に向けて計画的に進めていく。

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ← 「コピー」して「貼り付け」してください >		Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	<input type="checkbox"/> 単当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託合)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い ー
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託合)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性の評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い ー	
有効性の評価	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNP0、ボランティア団体等が参画している	目的達成度 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い ー		
市民参画度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNP0、ボランティア団体等が参画している	市民参画度 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い ー		

進行年度(H26年度)の改革改善内容															
状況	<table border="1"> <tr> <th>拡充</th> <th>現状継続</th> <th>見直し</th> <th>縮小</th> <th>整理統合</th> <th>休止</th> <th>廃止・完了</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了			○				
拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了									
		○													
説明	現在、備前西部エリアを対象として調査したが、今後は自然エネルギー調査等事業と併せて備前市全体での有効な自然エネルギーの利用について検討していく必要がある。														

総合評価		総合評価
手近なこと、ちいさな事、賛同してくれる方から始めていくという事で、まずは備前の西部エリアをターゲットにして調査事業を実施した。調査結果は、まだまだ採算性の面では難しい結果となったが、将来的には、低価格化も進み事業の可能性も見えてくる。限りある枯渇性資源の化石燃料の依存から脱却するために、今後も自然エネルギー、省エネルギーによる地産地消を目指す。		総合評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い ー

平成27年度の方向性・取組目標															
方向性	<table border="1"> <tr> <th>拡充</th> <th>現状継続</th> <th>見直し</th> <th>縮小</th> <th>整理統合</th> <th>休止</th> <th>廃止・完了</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了			○				
拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了									
		○													
取組目標	地域に応じた適材適所のエネルギーを地産地消する、また未活用の資源を有効に利用し、備前市の目指す環境にやさしいまちづくりを進めていく。														

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しな